

### 第3章 計画の基本的な考え方等

#### (1) 基本理念

## かわさきの豊かな「食」で健やかな心と体を育てよう

町民一人ひとりが、望ましい「食」に関する知識を身につけ、自らが心身の健康を守って、豊かな生活を送ることを目指して、基本理念のもと、食育を推進していきます。



生活習慣病予防研修会にて減塩食品の展示



小学生がごはんの計測体験をする様子



健康推進員の研修会の様子

#### (2) 重点施策・食育推進の視点・行動目標

基本理念に基づいて、町民運動として効果的かつ円滑に食育を推進するために、重点施策を次の通りとします。4つの視点から4つの行動目標を掲げて取り組みます。

#### <重点施策>

生活習慣病の発症予防・重症化予防及び改善につながる食育を胎生期から高齢期まで切れ目なく

#### <4つの視点>

①健康な体をつくる食育  
バランスよく、成長や適正な体格にあった食べかたをしよう

②健やかな心をはぐくむ食育  
「食」にかかわる体験をしよう

③地産地消をすすめ、食文化を伝える食育  
かわさきの食材(野菜・米など)を健康的においしく食べよう



④みんなで支えあう食育  
食育の輪をひろげよう

#### <4つの行動目標>

- 1 子どもの頃に望ましい生活リズムを身につけよう
- 2 望ましい食生活で健康な体をつくろう・守ろう
- 3 かわさきの食材を健康的においしく食べよう
- 4 歯と口腔の健康を守り、80歳で20本の歯を維持しよう

### (3) 具体的な取組の目標値

食育の推進、課題の達成に関する状況を客観的な指標により数値のデータで把握できるように、主要な項目について目標値を設定します。

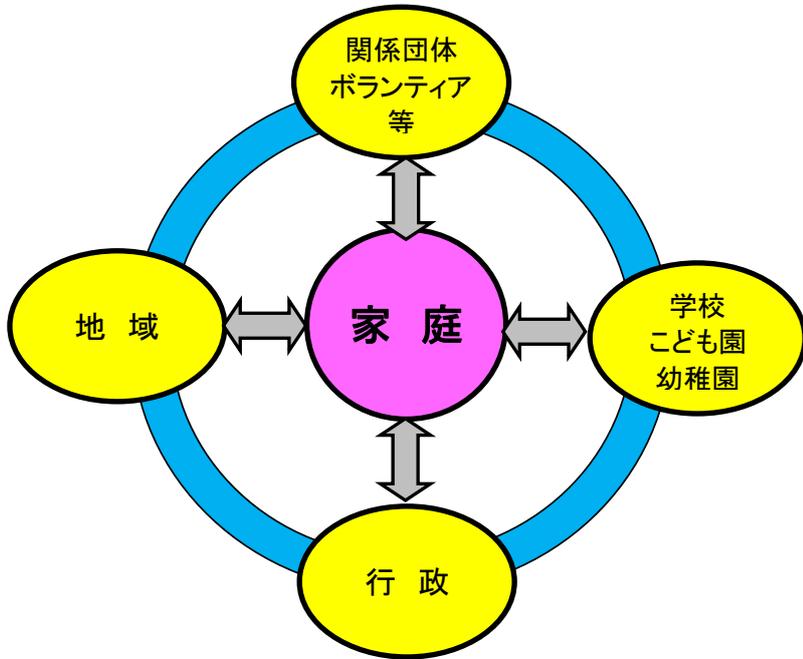
推進にあたっての指標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)
<b>子どもの頃に望ましい生活リズムを身につけよう</b>		
朝食を毎日食べる子どもの増加		
(5歳児)	96.6%	100%
(小学5年生)	83.0%	100%
(中学2年生)	79.7%	100%
		
<b>望ましい食生活で健康な体をつくろう・守ろう</b>		
		
<b>かわさきの食材を健康的においしく食べよう</b>		
メタボリックシンドローム該当者および予備軍の減少 (40～74歳)	36.9%	33.0%
適正体重の子どもの増加		
(3歳児) ※適正体重の範囲：肥満度－15%～＋15%	93.9%	95%
(小学生男子) } ※適正体重の範囲：肥満度－19%～＋19%	84.8%	95%
(小学生女子) }	83.6%	95%
(中学生男子) }	79.1%	90%
(中学生女子) }	81.8%	90%
栄養バランスのとれた食事を実践する人の増加 (成人)	52.5%	70%
塩分のとりかたを考えた食事を実践する人の増加 (成人)	66.2%	75%
時間や量を考えて間食をする人の増加 (成人)	46.1%	60%
栄養成分表示を確かめて食品を選ぶ人の増加		
(中学2年生)	28.6%	40%
(成人)	43.6%	50%
<b>歯と口腔の健康を守り、80歳で20本の歯を維持しよう</b>		
		
むし歯のない幼児の増加 (3歳児)	82.0%	90%
歯周病をもつ成人の減少 (40～74歳)	56.3%	50%

#### (4) 推進体制

食育の推進には、町民一人ひとりが主役となって、「食」と健康に関心を持ち、実践していくことが必要です。

川崎町では、これまでも家庭やこども園、幼稚園、学校、地域、行政などでそれぞれが食育に取り組んできましたが、これからも、手を取りあって協力しあい、「川崎らしさ」を大切にしながら、健康づくりにつながる食育をすすめていきます。また、食育をすすめるにあたり地産地消の促進に努めます。

<連携のイメージ図>



「川崎町長期総合計画」  
「健康かわさき21計画」  
等の関係する各種計画とあわせて、食育をすすめていきます。



<関係団体、地域、教育機関等との連携の様子>



地区健康教室の様子  
健康推進員、ヘルスマイトと連携



地域密着型サービス事業所研修会にて  
嚙下食の試食体験の様子



「食育の会」で、親子がおやつ作りをする様子  
子育て支援センターと連携



そば打ち体験とそばを主食としたバランス食  
の試食体験の様子  
小学校の親子行事と協働